

日本聖公会 神戸教区報

神のおとずれ

2010年
9月号

発行所
神戸教区事務所
TEL 078(351)5469
FAX 078(382)1095
http://www.nskk.org/kobe/

発行責任者
司祭 芳我 秀一

印刷所
文明堂印刷所

わたしは植え、アポロは水を注いだ。
しかし、成長させてくださったのは神です。

(コリントの信徒への手紙Ⅰ 三章六節)

司祭 ペテロパウロ 柳 本 博 人



大変なことに

立教小学校のチャプレンに
遣わされて八度目の夏休みを
迎えました。

着任当初、聖書の授業では
何を教えて、礼拝では何を伝
えれば良いのか、七百二十人
の男の子たちを前にして、周
章狼狽するばかりでした。何
しろエネルギーに満ち溢れた

イタズラ坊主の大群なのです。
授業で、「分からないとこ
ろは？」と問えば、「先生の
洒落の意味がわかりません！」
と返してくるし、「黒板が読
めませくん」というので、
「前になささい」と指示すれ

ば、「大ききの問題じゃなく
て、字が汚く読めませくん」
とのたまう始末。この先、一
体どうなる事かと頭を痛めま
したが、それは、全くの要ら
ざる危惧でした。

神様と子どもたち

毎週金曜日、チャペルで礼
拝が守られます。

この礼拝で、聖書朗読やク
ロス・トーチベアラ等の礼
拝当番を担当する三年生と六
年生は、その大仕事の前に極
度の緊張を経験します。顔が
強張ったり、「緊張する〜」
「怖エ〜」を繰り返す口にす
る子どもたちは、無意識のう
ちに超越者である神様を怖れ
ています。

そして、無事、勤めを果た
した後は、「疲れた〜」「やっ
たぜ〜」と、安堵と達成感を
味わい、神様に仕えることの
喜びもすっかり体験します。

また、学習や給食、クラブ
活動等々、あらゆる活動を
「祈り」を以て始め、終わる
ことが日常である子どもたち
にとって、自分を愛し、神様
との間の壁を打ち破ってくだ
さるイエス様は、リアリテー
ィのあるヒーローです。

日々、神様との関係を生き
る子どもたちにとって、信仰

は学習の対象ではありません。
それは、生きる現実です。彼
らは、その本質に於いて、神
様を指向します。

子どもたちの力

チャプレンをしていると、
時々、建設的・創造的な力を
与えてくれる「何か」「誰か」
に遭遇することがあります。

風邪をひいてゴホゴホ咳を
しながら朝礼でお祈りをした
日、廊下で行きあった、いつ
もは顔を見るなり脱兎のごと
くかけ出すのに、心配そうな
表情で「大丈夫？」と声をか
けてくれる子ども。

いつもは賑やかな授業なの
に、なぜか、静かに聞いてく
れているときの子どもたちの
真剣な表情。

毎日、顔を合わせている筈な
のに、日曜日に、学院のチャ
ペルの日曜学校で出会ったと
きに、子どもたちが見せてく
れる、懐かしそうな、嬉しそ
うな笑顔。

子どもたちを通して出会う
ことのできる、そのどれもが、
周囲の大人に創造的な力、新
しい一歩を踏み出す勇氣、そ

して、今日を生きる力を与え
てくれます。

その歩みが、いつも神様と
共にあるからこそ、彼らは
「愛」「優しさ」という力を発
揮できるのでしょう。それが、
腕白でもいい…、懸念は不要、
と気付かされた所由です。

ミッション

そんな子どもたちへのチャ
プレンのミッションは、神様
について、愛について教える
ことではなさそうです。それ
は、子どもたちと一緒に、
「神様と一緒にの学校生活は、
こんなに楽しいんだ」「神様
と一緒にだから、決して一人ぼ
ちではないんだ」「神様と一
緒だから、どんな事が起こっ
ても大丈夫なんだ」、そんな
毎日を生きることであるよう
に思うのです。

神様と一緒にの学校生活で、
創造的な力を分けてくれる子
どもたち、慰め、力づけてく
れる子どもたちの、その声や
表情の中に、イエス様の姿を
見つけたいと願っています。

(立教学院・立教小学校
チャプレン)

2010 今

神戸松蔭女子学院大学

司祭 マルコ 藤井 尚人

神戸松蔭女子学院大学のチャペルとして派遣されて3ヶ月が経ちました。前任地・姫路では聖ミカエル広畑幼稚園のチャペルでしたので、「神さまの愛を伝える相手が、少し大きくなっただけ」とも言えるのですが、やはり、私にとっては、日々、新しい体験の連続でした。

大学・入学式

引越しの荷物に囲まれながら最初の役割は、入学式の準備、そして当日の祈禱でした。中村院長(教区主教)の祈禱で締め

括られた入学式は、やはり、松蔭が聖公会の宣教団体(SPG)によって創立されたという歴史の事実を、確かに新入学の学生たちに伝えるものでした。

十字架・復活・聖霊降臨日

学内チャペル行事は教会暦に沿って行われています。イエスの受難に想いを馳せながら学内を巡った十字架TOUR。イースターキャロルは「アレルヤ・アレルヤ・イエスのよみがえり(聖歌174)」という讃美の歌声。聖霊降臨日は、チャペル前広場で「特製・鳩クッキー(1)」を求めて沢山の教職員・学生が集まりました。毎日のヌーン・サービスを初め、このようなチャペル活動は「宗教センター」を中心に運営されています。

大聖堂&神戸マリナーズセンター訪問

6月13日(日)、大学の教職員・学生、約50名が松蔭の母なる神戸聖ミカエル大聖堂を訪問しました。

今年「元町スイーツ・オリエンテリング」と題し、主日礼拝の後、神戸元町を散策。神戸マリナーズセンター(聖アンデレ礼拝堂)で、ポール聖職候補生の歓迎を受けました。

明治以降、宣教師たちは「教会」と「学校(病院・福祉施設)」を車の両輪のようにしてキリス

ト教の宣教を行いました。このように教区と学校を繋ぐこともチャペルの大切な役割です。



神戸マリナーズセンター(聖アンデレ礼拝堂)にて

青春のテーマはいつの時代も「自分探し」。しかし、大切なことは先ず「自分なくし」であり、その先にある「神さま探し」です。学生たちと一緒に「イエスさま探し」ができる毎日、司祭として何よりも幸せなことがあると感謝しております。(神戸聖ヨハネ教会牧師・神戸松蔭女子学院大学 非常勤チャペレン)

松蔭中学・高等学校

執事 イサク 坪井 智

オリエンテーション

松蔭中学校では、3年前より入学式前に1泊のオリエンテー

ションキャンプを行っています。中学生になる心構えや友達作りを中心に多彩なプログラムを行います。特に、子供たちが集まるごとに聖歌の練習をしっかりと行っています。今年度はこの練習が功を奏したのか、よく聖歌を歌ってくれます。松蔭では、入学の報告、卒業の報告、感謝を大聖堂で行っています。4月の14日には、今年の新入生が聖ミカエル大聖堂にて入学感謝礼拝を行いました。その時にも、中村院長からも大きな声で聖歌を歌うとほめていただきました。

吉村知広先生追悼式

一学期には、教職員の方々が相次いで、この世を去られました。特に、本校体育教師及び副校長であった吉村知広先生が、5月6日に逝去されました。事はとも悲しい出来事です。先生はキリスト教に深い関心を示され、度々教会の礼拝に出席されたり、聖ミカエル教会のバザーでは生徒と共に出席をされたり、広島平和礼拝にも毎年参加してくださいました。6月2日に教役者修養会を切り上げて臨席してくださいました中村院長から、心温まる追悼のお言葉を頂きました。故人の魂の平安を祈ります。

一学期の宗教週間

今年度は、6月14日〜19日の

聖公会信者対象AO入試情報

神戸松蔭女子学院大学には、同学院の建学の精神と教育内容をよく理解し、信者として入学後に積極的にチャペルの奉仕活動に力を注ぎたいという意欲を持っている人を対象に、AO入試制度(自己アピール書、課題レポートや面接で選抜)があります。詳細については各教会に配布の入試案内をご覧ください。同学院入試・広報課 ☎078-882-6123 までお問い合わせください。

◎2011年度AO入試エントリー受付期間

2010年9月1日(水)〜24日(金)

間、キリスト教をもっと知ろうというテーマの下に、色々なプログラムを行いました。13日の主日には、大学生と共に5名の生徒が大聖堂を訪問致しました。また、特別礼拝ではJOCSSの総主事・大江先生から、今年度創立50周年を迎えたJOCSSの働きを伺いました。それ以外にも、兵庫県盲導犬協会の講演や、にじ作業所のパン販売など多彩なプログラムを行いました。これらの行事を通して、少しでもキリスト教の精神を感じてもらえればと願っております。(松蔭女子学院中高チャペレン・神戸松蔭女子学院大学 非常勤チャペレン)

歌おう・弾こう！ 礼拝で献げる音楽

〜活き活きとした聖歌を弾こう〜

ルツ 原 田 里香子

6月25日(金)〜26日(土)、主教座聖堂参事会と神戸国際大学の共催によるオルガニスト研修会が、大学チャペル・諸聖徒礼拝堂で行われました。

講師は大学オルガニストの伊藤純子姉、実技受講者12人、聴講11人が教区内から集まりました。(うち約半分が初参加)

今年は「ウォーミングアップ」と題して、チャペルのオルガン(26ストップ、二段鍵盤ペダル付)を自由に弾ける時間を設けました。これは、参加者が日頃

弾いているオルガンに比べかなり大きなサイズのものですが、多様で複雑なパイプの音色や、鍵盤タッチの違いを感じるなど、貴重な体験をしました。

また「セッション」と題して、与えられた課題曲(聖歌6曲、チャント3曲)を実技受講者が一人ずつ弾く公開レッスンも行われました。一曲一曲を掘りさげて、曲への理解を深め、一緒に歌うことによって、活き活きとした聖歌が生まれました。皆の熱い思い、エネルギーが

歌に乗り、響きのよい空間とダイナミックなオルガンの音色の相乗効果も加わり、力強い歌声がチャペルに響き渡りました。この体験は参加者にとって何よりの勉強になったと思います。聖歌をより深く探求し、効果的に会衆にアピールする弾き方や音色のアレンジを試し、聖歌の持つ力、可能性を感じることができた研修でした。

また日頃抱える問題も、オルガニスト同士、ざっくばらんに語り合い、共感し、楽しい交流の機会も与えられました。研修中、中村教区主教の挨拶の中で「洗練された礼拝」という言葉がありました。礼拝でオルガニストの担う役割は大変大きいものです。この研修を通して、一人一人に力が与えられ、更なる努力につながる事を期待します。

礼拝において、オルガニスト一人で賛美を献げる事はできません。信徒、会衆の皆様とよい方向へ互いに作用しあってこそ生きた聖歌が生まれます。参加された皆様の教会で、聖歌への取り組みが更に充実したものになります。ようお祈りいたします。



神戸国際大学チャペル・諸聖徒礼拝堂のパイプオルガンの前で

(主教座聖堂参事・礼拝音楽担当者。明石聖マリア・マグダレン教会信徒)

第3回 教区事務所会議報告(抜粋)

日時 10年7月2日(金)

18時00分〜20時00分

場所 教区教会館会議室

I. 報告事項

1. 教務局長報告

① ウィリアムス神学館に2010年度協力金として20万円を送金した。

② 大聖堂耐震工事について、献金趣意書・ポスター、献金袋等を作成し送付した。

2. 宣教部報告

① 青年集会「キリストの平和」報告。5月3日(月)〜5日(水)、倉敷伝道所にて開催。参加者17名。

② キャンプサーバー・トレニング・キャンプ(CTC)報告。6月18日(金)〜20日(日)、教区会館、神戸聖ミカエル教会、垂水伝道所にて開催。参加者15名。

③ 中高生大会の準備状況報告。8月17日(火)〜20日(金)、国立淡路青少年交流の家にて開催予定。テーマ「道」 大会長 八代良寛兄。講師 文屋範奈姉。参加費1万円(保険料含む)。

3. 広報部報告
① 3月にリニューアル後の教区ホームページ訪問件数は6月末で約3350件。

② 神のおとずれ12月号(カラー版)は5000部印刷。関係学園施設には無料配布の予定。
③ 神のおとずれ写真が、より鮮明

になるように対処する予定。

4. 総務部報告

① 一元化申請、規則変更申請手続き中。

② 6月19日、災害援助用備品を整理。

③ 教区諸規則改訂版を整え、印刷作業を行う。

5. 財務部報告

① 2011年度 教区予算編成のための各教会拠出金配分案への回答があった。

② 2009年度 一般会計決算書及び繰越金処分案作成。

③ 2011年度 一般会計予算案作成

④ 神戸教区旅費及び宿泊費について検討中。

6. 厚生部報告

① 教役者の生活習慣病予防検診の申込状況報告。

II. 決議事項

1. 各部報告を承認。

2. プレ宣教協議会参加候補者人選を行い、参加者との交渉は教務局長に一任。

3. 長崎平和礼拝参加者は、芳我秀一司祭、上原信幸司祭、林和広司祭、永野拓也兄(神戸聖ヨハネ教会信徒)。

4. 教区ホームページに牧師・管理司祭以外にも実際に定住、また礼拝している協力司祭写真も掲載する。

5. 2009年度 一般会計決算書及び繰越金処分案承認。

6. 2011年度 一般会計予算案承認。

鳩だより 《敬称略》

祝 洗 礼

7月10日(出)

ヨハネ 塩崎 利男

明石聖マリア・マグダレン教会

7月18日(日)

アブラハム 頃末 健大

パウロ 頃末 渚

明石聖マリア・マグダレン教会

祝 堅 信

7月4日(日)

マリヤ 阿部 紫乃

高知聖パウロ教会

7月11日(日)

ヤコブ 木村 英一

松江基督教会

7月18日(日)

アブラハム 頃末 健大

ヨハネ 伊藤 和夫

明石聖マリア・マグダレン教会

ご 逝 去

7月8日(木)

ハンナ 益戸 久美子(61歳)

神戸聖ミカエル教会

7月12日(月)

リベカ 田中 國子(82歳)

徳山聖マリア教会

7月20日(火)

ハンナ 福岡 弥生(93歳)

広島復活教会



10月の教区関係教役者 逝去記念聖餐式

日時 2010年10月14日(木) 午前10:30
場所 神戸聖ミカエル大聖堂
司式 主教 中村 豊
説教 司祭 芳我 秀一

10月の記念逝去教役者

1日	宣教師	キャサリン・M・シェパード	三浦み枝
1日	伝道師	ヨハンナ・ノア	三浦重太郎
4日	司祭	ノア	七重
5日	伝道師	ミカエル	南岡昌男
5日	司祭	ヨハネ	津田牛島惣内
7日	司祭	ヨハネ	坂下文吾
8日	司祭	オーエン	國弘
9日	執事	ヒルダ・S・ミカエル	ジャクソン
9日	宣教師	ミカエル	八代武良
10日	主司祭	パウロ	河合克己
14日	司祭	アントニオ	嶋田シメオン
14日	司祭	アントニオ	嶋田シメオン
14日	執事	ハロルド・J・ペテロ	松井太一
15日	司祭	サミュエル	ヘズ
16日	主教	サミュエル	ヘズ
16日	主教	サミュエル	ヘズ
21日	伝道師	オーガスチン	三浦上光
21日	司祭	レオノア	岡田久一
21日	司祭	レオノア	岡田久一
24日	司祭	レオノア	岡田久一
28日	宣教師	ルカ	藤本喜秀
29日	司祭	バルナバ	加門一
31日	司祭	バルナバ	加門一
31日	司祭	バルナバ	加門一

教 籍 移 動

6月17日(木)

マリヤ 阿部 紫乃さん

東北教区鶴岡聖公会より

高知聖パウロ教会へ

7月1日(木)

ヨハネ 伊藤 和夫さん

マリヤ 伊藤 禮子さん

吉祥寺福音教会より明石聖マリア・マグダレン教会へ

瀬戸内伝道区

◎倉敷伝道所

7月30日(金)

昨年に引き続き、今年も「プール遊びの会」を開き、隣の子どもたちと交わりの時を持ちました。この猛暑の夏に、みんな水遊びに大はしゃぎでした。0歳から小学生までの子どもたちが集まり、保護者を含めて20名が参加しました。



2010年度

ウイリアムス神学館

体験入学のご案内

日時 10月20日(水) 16時00分

10月22日(金) 14時00分

場所 〓ウイリアムス神学館

宿泊 〓ザ・パレスサイドホテル

対象 〓満18歳(高卒)以上の方

定員 〓10名(申込み順)

費用 〓25,000円(食費・宿泊費含)

持ち物 〓祈禱書・旧新約聖書

(新共同訳)・筆記用具等。

申込締切 〓10月12日(火)

各教会送付の申込用紙を

利用下さい(FAX・Eメール可)。

◎お問い合わせは、担当教員の吉

田雅人司祭か大塚勝司祭まで

(TEL 075-431-5406 FAX 075-431-5445)

《次号予定》(6頁)

巻頭 上原信幸司祭

広島平和礼拝2010報告、
第47回中高生大会報告ほか

聖ミカエル大聖堂耐震改修工事 献金のお願い

工事総額 4,900万円

内 耐震補強工事 2,960万円

改修工事 1,940万円

工事収入 神戸聖ミカエル教会献金 3,000万円

大聖堂耐震改修工事献金 1,900万円

献金期間 2010年 7月1日より

2011年 3月31日まで

献金方法

1. 配布された献金袋に献金予約をし、礼拝時に献げていただく
2. 郵便振込用紙を用いて献金していただく
郵便振込口座 01190-5-43427
加入者名 日本聖公会神戸教区

※詳細については神戸教区事務所(078-351-5469)までお問い合わせください。郵便振込用紙は各教会に配布済みですが、余分が必要な場合は教区事務所にまでご連絡ください。

編集後記

9月号は松蔭女子学院とそのチャペル活動などを特集させて頂きました。中村教区主教は就任後、「ミッション・スクールとの連携は最重要課題」と提唱されていましたが、次第にその進展が見られるようになっていっているのではないでしょうか。

神戸教区内に松蔭女子学院、八代学院と二つの学院を擁しているということは、宣教・伝道の場として、大変な恵みが与えられていることだと思います。改めてそのことに目を向けるためにも、今後、八代学院、神戸国際大学・付属高校の特集の機会も持ちたく思っています。教育事業は、とても大切な社会貢献です。御名によって建てられた諸学校、殊に松蔭女子学院、八代学院の為に共に祈って参りたいと思います。(小南記)